

宇都宮都市交通戦略 短期的施策事業 実施状況（平成25年度）

I.誰もが移動しやすい交通環境を整備する

※網掛けは重点施策事業。数値はH26.3.31見

施策事業名		主な取組状況等
1-①	バス路線の新設	1路線新設（東図書館線）。2路線社会実験（中心市街地南循環線、平松本町線）
1-②	地域内交通の導入	2地区本格運行（横川、富屋）、3地区試験運行（雀宮、上河内、河内）
1-③	C&R(C&BR)用駐輪場の整備	3か所整備（野尻、狹又局前、とちぎ男女共同参画センター）
2-④	乗り継ぎに便利なダイヤの調整	鉄道ダイヤ改正と調整、バス路線相互調整（平松本町線・ベルモール線）
2-⑥	乗り継ぎ割引制度の導入	地域内交通と済生会病院線でH26.3~実験予定
3-①	バス優先（専用）レーン設置	※国道123号線等への新たな導入や規制時間の変更等は利用者要望に応じて検討
3-③	歩車分離信号の設置	※事業者からの大通り全交差点整備要望に対しては、必要箇所は調査を行い、メリット・デメリットを検討
3-④	バス停の利用環境整備	広告付き上屋3基整備（馬場町、宮島町、作新学院前）、通常上屋11基整備（事業者4、県7）
3-⑤	複数バス停の統合	※可能箇所は実施済み（22か所）。大通りの統合は乗降による渋滞を招くため困難
3-⑥	目的・ニーズに応じたバスの運行	※深夜バス（3路線）、直通バス（5路線）を運行継続
4-①	鉄道駅のインフォメーションの改善	JR宇都宮駅有人案内を実施（西口4人体制、東口1人体制を維持・関東）
4-③	バスの運行情報の提供	バスロケーションシステムを整備（関東5系統（精度向上）・東野3系統）
5-①	JR宇都宮駅西口交通環境の整備	広報紙周知。タクシー事業者利用改善指導。事業推進に向けた基礎調査実施
5-③	JR岡本駅周辺の整備	東西駅前広場等詳細設計。西口広場整備工事
6-①	都市計画道路の整備	真岡宇都宮BP供用開始。3・2・101号大通り（駒生・桜）等の整備を推進
6-②	道路新設改良事業	幹線道路（みずほの通りほか21路線）、生活道路（25路線）等の整備を推進

II.まちづくりに資する交通環境を整備する

施策事業名		主な取組状況等
1-①	幹線バスの運行サービスの充実	2路線頻度向上（帝京大線、御幸ヶ原元町線）
1-②	循環バス（ミニバス）の運行	2路線社会実験（中心市街地南循環線、平松本町線）
3-②	都心部道路景観整備事業	「ユニオン通り」電線地中化に向けた事前支障移設
3-③	大通りトランジットモール化	※基幹公共交通の状況を踏まえ、自転車歩行者の通行空間の創出に向けた検討を推進
3-④	レンタサイクルの充実	46,800人の利用見込。おもてなしレンタサイクル自主事業移行への制度設計
3-⑤	モビリティセンターの整備	「宮サイクルステーション」に指定管理者導入
4-③	自転車道の整備	いちよう通り、西原通り・宮原通り、旧鹿沼街道、宇都宮向田線の整備着手
4-⑤	休憩スポット（自転車の駅）の設置	7か所整備。延べ37か所（公共8、観光3、コンビニ26）
4-⑥	自転車マップの作成	中心部版と郊外部版を統合、内容を充実し、11,000部作成・配布
5-①	土地区画整理事業による道路の整備	宇大東南部第1・第2、鶴田第2、岡本駅西で延べ1,499m整備

III.人や環境にやさしい交通を整備する

施策事業名		主な取組状況等
1-①	JR岡本駅橋上化・東西連絡通路の新設	東西自由通路・橋上駅舎に関する実施設計
1-②	公共交通のバリアフリー事業の推進	バス路線や駅舎のバリアフリー化に関する要望・情報の収集
1-④	人にやさしいバスの導入	ノンステップバス8台導入（関東6、東野2）。延べ118台/300台・39.3%
2-②	低公害車・低燃費型自動車の導入促進	広報紙・イベントでの情報発信
2-③	環境にやさしいバスの導入	アイドリングストップバス8台導入（関東6、東野2）。延べ177台/300台
3-④	道路バリアフリー事業の推進	国道4号雀宮駅前歩道等を整備。歩道バリアフリー化手法のアンケート調査を実施
3-⑤	JR雀宮駅周辺道路の整備	市道713号線（雀宮中央小）施設工事
4-①	モビリティ・マネジメントの実施	乗り方教室、社会実験・地域内交通利用促進、バスマップ改定、広報紙PR等を実施
4-②	バス鉄道利用デーの推進	エコ通勤統一行動週間の実施（対象：95事業者、自治体職員18,700人）
5-①	高齢者外出支援事業	交付約20,600人（3社共通バスカード98%）
5-②	障がい者の外出支援	タクシー利用助成約6,400人、交通費助成約2,100人
5-③	障がい者福祉バス事業	延べ利用約119団体、約2,890人